

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 岐阜県立恵那高等学校 佐々木俊哉(理), 高橋亜由子(英)
2. 講師氏名: Lyle F. DE SOUZA 博士
3. 同行者氏名: Takeo Suzuki
Ph.D. student in sociology at Kyoto University who works as my research assistant
4. 実施日時: 平成29年1月17日 (水) 13:45 ~ 15:25
5. 参加生徒: 2年生 22人 (合計 22人)
備考: 理数科の生徒。3講座同時開講。2クラス 80名が希望の講座を聴講。
6. 講演題目: 日系人ディアスポラの文学に見られるアイデンティティと帰属
7. 講演概要:
 - ・自己紹介, 英国の歴史と人物についての紹介。
 - ・研究内容の説明: 「KazuoIshiguro」「JoyKogawa」について話をされる中で, Who are we? の解決の切り口を, 日系人の文学から求めるという少々難解なしかし興味深いお話しでした。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 40分 質疑応答時間 10分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者による日本語解説(それでも難しい講演内容でした)
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師作成のアブストラクトとキーワードリスト
10. その他特筆すべき事項:
 - ・講演後, 講師の先生に対し, 本校生徒による課題研究の英語プレゼンテーションを実施。

8グループ, 各3分。先生から質問いただき, 英語, 日本語を交えて質疑応答を行いました。